

板橋キャンパス跡地活用プランに基づく 障がい者（児）福祉施設整備事業の現況について

板橋キャンパス跡地における障がい者（児）福祉施設の整備については、東京都の都有地活用による地域の福祉インフラ整備事業として、令和5年3月の開設に向けて、準備を進めてきたところである。

今般、コロナ禍による建設資材の高騰等を受け、建設工事の入札が不調となったことを機に、東京都との協議を経て事業の見直しを行うこととなったため報告する。

1 事業概要

東京都が、都有地である板橋キャンパス跡地（板橋区栄町 35 番 2 号）の借受事業者を公募により決定し、当該事業者による施設の整備及び運営を行う。

平成 31 年に東京都が策定した「板橋キャンパス跡地活用プラン」（別紙参照）の一環として、障害福祉サービス事業所の整備を進めている。

（1）事業への区の関わり

① 公募に関する事務

区事業計画書及び公募要項の作成を行う。また、応募者の書類・プロポーザル審査を実施し、応募者についての意見書を東京都へ提出する。

② 整備費の国庫補助に関する事務

障がい者施設の整備に関する区の現状、ニーズ及び住民同意書を付した意見書を作成し、東京都へ提出する。

③ 板橋区と事業者との間で基本協定書を締結

（2）施設内容

① 共同生活援助（グループホーム）

※強度行動障がい者、重度重複障がい者の受入れも行う。

② 短期入所（ショートステイ）

※医療的ケア、緊急時の受入れも対応する。

③ 児童発達支援（児童デイサービス）

※一定数の重症心身障がい児の受入れも行う。

④ 相談支援、障がい児相談支援

2 事業の経緯

令和元年 7 月	公募要項公表
10 月	申請締め切り → 書類審査
11 月	プロポーザル審査

令和2年 2月	事業者の決定
9月	近隣住民への周知（チラシのポスティング） ※コロナによる説明会の中止
令和3年 8月	整備費の国庫補助の内示
令和4年 1月	事業者が実施した建設工事の入札 → 不調
3月	都・区・事業者による協議

3 建設工事の入札不調について

整備費の国庫補助の内定を受け、令和4年1月に事業者が建設工事の入札を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による建設資材・原材料費の高騰等により不調となった。

<入札結果>

1回目：4社入札 ⇒ 不調

2回目：3社辞退、1社入札 ⇒ 不調

※契約目途額と最低入札額との間に概ね1億円の乖離があった

4 今後の進め方

令和4年3月中旬に今後の方向性について、都・区・事業者による三者協議を実施したところ、公募による業者選定以降のコロナ禍などによる急激な社会情勢の変化のため、当初のスケジュール（令和5年3月開設）で本事業を進めていくことは困難であるとの結論に至った。

今後は、早急に関係各所との調整・協議を行い、社会情勢の変化を踏まえたうえで事業の見直しを進めていく。